

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

| | |
|----------|--|
| 研究開発課題名 | High-throughput analysis of human memory B cells and antibodies against flavivirus E protein in Asia |
| 研究開発機関名 | 国立感染症研究所 |
| 研究開発代表者名 | 高橋 宜聖 |

指摘事項

- 評価できる点
日本、タイ、並びに米国の研究者が協力して、タイ健常人におけるフラビウイルス E タンパク質に対する抗体価について、量的、並びに質的な評価結果を得ている。これは、将来の予防・治療法開発に有用なデータを与える成果として評価できる。
- 疑問点、改善すべき点
抗体解析の結果が明確に示されておらず、所期の目標が達成度が把握できない。早期に論文化や特許出願を行い、研究成果をワクチン開発につなげるアプローチが行われることを期待する。

以上